

委員会視察記録

委員会名	文教警察委員会		
期 間	令和8年7月21日～22日		
参加者	委員長 杉本 好重 副委員長 河原崎 全 委員 藤曲 敬宏 委員 鈴木 澄美 委員 佐野 愛子 委員 山本 隆久 副委員長 山本 彰彦 委員 加藤 祐喜 委員 中沢 公彦 委員 川崎 和子		
視察先	1 静岡県中央児童相談所（藤枝市瀬戸新屋） 2 静岡県立するが視覚総合特別支援学校（静岡市駿河区曲金） 3 学校法人星美学園静岡サレジオ小学校（静岡市清水区中之郷） 4 静岡県警察本部刑事部鑑識課（静岡市清水区吉川） 5 静岡県警察中部運転免許センター（静岡市葵区与一） 6 静岡県立ふじのくに中学校磐田本校（磐田市中泉）		

視察の概要

7月21日（火）

■ 静岡県中央児童相談所

<概要>

国の「児童虐待防止対策体制総合強化プラン（児童福祉司の配置基準を管内人口3万人に1人以上に引き上げ等）」に基づき、令和4年度からは県内5つの児童相談所を所管する現職出向警察官（主幹：令和2年度から配置）に加え併任警察官（主査）を配置し、警察との連携を強化している。

児童相談所に警察官を配置した効果として、警察組織と児童相談所の考え方や対応の仕方についての相互理解が進み、情報共有に要する時間も大幅に短縮。児童の早期安全確保や被疑者の早期摘発による加害抑止にも結び付いている。

<主な質疑内容>

Q 通告は公的機関の他、どのようなところからあるのか。

A 1月から5月末までの通告397件のうち、子供自身から39件、親族から261件、一般人から32件、公的機関は57件、警察活動の中で8件。

Q 逮捕するような場合は併任警察官が行うのか。

A 逮捕をするような状況となった場合は、管轄の警察と連携して行う。



■ 静岡県立するが視覚総合特別支援学校

<概要>

静岡地区の知的特別支援学校の「施設狭隘化の解消」及び「児童生徒の通学負担の軽減」を目的に設置された。

視覚障害は、幼稚部、小学部、中学部、高等部（本科保健医療科）、知的障害は、高等部が設置されている。通学区域は、視覚障害（全学部）は県中部地区、知的障害（高等部）は静岡市駿河区、静岡市葵区の一部。

寄宿舎があり、現在、視覚障害小学部の3名が利用している。

視覚障害幼稚部、小学部は触察、点字、中学部は生活場面を想定した学習として白杖での歩行訓練、高等部はあん摩マッサージ指圧師国家試験受験資格取得に向けて実技などを学習。視覚部門と知的部門の児童生徒が積極的に交流し相互理解を深めている。

<主な質疑内容>

Q 生徒はどのような経緯で知的障害高等部へ進学をするのか。

A 地元の中学校の特別支援学級に在籍していた生徒が、中学卒業後の進路選択として特別支援学校を選択し進学する。

Q 視覚中等部を卒業した生徒はそのまま高等部へ進学するのか。

A 本校視覚高等部は保健医療科であるため中途視覚障害者が進学。中等部生徒は、視覚高等部普通科がある浜松視覚特別支援学校に進学する。



■ 学校法人星美学園 静岡サレジオ小学校

<概要>

日本で初めての幼稚園・小学校・中学・高等学校一貫の国際バカロレア校。

小学校1年～4年をプライマリーステージ、小学校5年～6年、中学校1年～2年をミドルステージ、中学校3年、高等学校1年～3年をカレッジステージの4、4、4制に分けている。

教室は、電子黒板、壁まであるホワイトボードを整備。デジタル教科書はiPadで利用している。

児童らは紙の教科書は学校に置き、デジタル教科書（iPad）を家に持ち帰っている。

算数と国語の教科書にデジタル教科書を導入しているが、デジタル教科書と紙の教科書を併用している。授業ではデジタル教科書と紙の教科書を同時に使用することはしていないため、机が狭いといった問題はおきていない。

<主な質疑内容>

Q デジタル教科書導入科目と活用場面。



A 学習者用（児童用）は国語と算数、指導者用（教員用）は国語、算数、理科を導入。紙の教科書がメインでデジタル教科書は補助として活用。デジタル教科書の活用場面としては、デジタル教科書を電子黒板に映す活用方法が主だが、漢字指導、図形など視覚的に優位な学習内容についてはデジタル教科書を活用している。

Q デジタル教科書を活用した授業での児童たちの反応は。

A 児童たちの反応は大変良い。楽しみながら授業を受けている。

Q デジタル教科書を運用するに当たっての児童、教員の課題など。

A 児童たちは、目への影響（ドライアイなど）の心配がある。

教員については、紙とデジタルの良いところを利用した授業の工夫が必要。

7月22日（水）

■ 静岡県警察本部刑事部鑑識課

<概要>

静岡県警察犯罪鑑識は1948年（昭和23年）発足。鑑識課は庶務、企画指導、機動鑑識、指紋資料、現場指紋、現場足痕跡、写真の7つの班から成っている。業務の内容については、機動鑑識班は機動力を活かした重要凶悪事件の対応、最新技術研究開発、資機材開発と整備、実技指導による若手の育成、指紋資料班は被疑者の指紋を確認、行方不明者等の身体特徴データのコンピューターへの取り込み、現場指紋班は関係者の指紋と犯人の遺留指紋を選別し鑑定、足痕跡班は足跡の特徴を見だし鑑定、写真班は現場写真の印画作業や採取指紋の鮮明化を行っている。

先端技術を取り入れており、「指掌紋自動識別システム」はデータベースに指紋データを登録し照合に利用。「事件現場SD化システム」は、事件現場をSD化することで作業時間の短縮につながっている。

鑑識技術研究発表会を昭和37年開催以降隔年で開催。資機材研究開発、鑑識技術の向上につながっている。昨年度の鑑識技術研究発表会優秀賞は、大量の血液が付着した証拠品から指紋やDNAが採取できなかった事例を解決した研究で、血液だけを取り除き、指紋とDNAを採取できる薬剤を全国で初めて開発した。静岡県警察の鑑識レベルを高めるべく日々技術向上に励んでいる。

<主な質疑内容>

Q 機動鑑識は清水から全県へ出動しているのか。

A 東部（沼津警察署）、中部（清水警察署）、中東遠（島田警察署）、西部（浜松中央警察署）の4拠点から出動している。

Q 新技術は警察庁が開発しているのか。また開発した新技術は全国一斉に採用しているのか。

A 警察庁だけでなく、新技術は各県でも研究されている。また、それら研究開発された新技術を採用するかどうかは各県の判断による。



■ 静岡県警察中部運転免許センター

<概要>

外免切替申請者数は令和5年度から増加。延べ9,000人弱。在留外国人が増えていることが背景にある。来年度は育成就労制度の導入が予定されており増加基調である。東部はスリランカ国の免許、中部及び西部はブラジル国の免許からの切り替えが一番多い。

外免切り替え手続きは、発行国（特例国以外）での運転免許を正規手続きにより取得している方で発行国で3か月以上滞在している方が、①説明会、②外国免許証の書類審査と面接、③適正試験、④知識・技能確認を経て日本の運転免許証が交付される。

説明会は、サポート業者が帯同し必要書類の点検と説明をする。タブレットを活用した知識確認は、日本語のほか21か国語に対応している。外免切り替えで運転免許証が交付されなかった方には自学自習をやさしい日本語で推奨している。

また、外免切替業務の人材育成、関係機関団体との連携、広報活動にも取り組んでいる。

<主な質疑内容>

Q 技能の練習は自動車学校でできるのか。

A 外免切り替えの方は自動車学校で1時間あたり2,500円で練習が可能。

Q 特定技能制度でインドネシアの方が増えていると思うが、現状は。

A 特定技能制度でのエントリーは少ない。現在はスリランカ国免許からの切り替えが多い。



■ 静岡県立ふじのくに中学校磐田本校

<概要>

夜間中学校は学齢超過者が通える中学校で、中学校内容の基礎、教科学習のための日本語の学び直しや学校へ通学（集団での学習に参加）できるようにし、高校への進学準備、就労準備などを支援している。

現在、生徒は外国ルーツの生徒が8割。このため、義務教育未修了者のための学校という役割に加え、公的な日本語教育機関としての役割も期待されている。高校進学へ向けての日本語を学べる学校は少なく、ニーズに応えるため、教科学習コース（通常の教科を学年ごとに学習）、基礎学習コース（理科基礎、社会基礎、日本語を週5.5時間）、日本語学習コース（日本語を週9.5時間）の3つのコースが選択できるようにしている。生徒の実態やニーズに合わせるため、数か月に1度のペースで学習集団と時間割を見直している。



<主な質疑応答>

Q ふじのくに中学校を卒業する生徒の進路は高校進学が主か。

A 高校卒業資格を取得した上で良い就職先を探したい生徒は、定時制高校へ進学している。定時制高校へ進学すると30歳を超えてしまうような生徒は就労を希望する傾向にある。就労希望の生徒のため企業からの求人を増やす取り組みをしている。

Q 日本語学校との違いは何か。不登校の生徒へのアプローチはどのようにしているのか。

A 日本語学校は日本語を習得させることを目的とした学校。ふじのくに中学校は義務教育を行っている。また、本校に通っている生徒は、不登校や引きこもり経験のある生徒たちも多くいる。不登校や引きこもりの生徒らが本校に来られるように、まずは磐田市との連携を強化している。